

【設営・取扱説明書】

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



【部品構成表】 ( )は素材

フライシート×1 (ポリエステル)	インナーテント×1 (ポリエステル) ※装着済み	パネルフレーム×2 (6061アルミ) (5節)	リッジフレーム×1 (6061アルミ) (7節)コの字型	キャンピーポール×2 (スチール) (3節)
ペグ×26 (スチール)	エアポンプ×1	ハンマー×1 (スチール) ※サービス品	ロープ 3.5M×10 3M×4 (PP) ※一部装着済み	

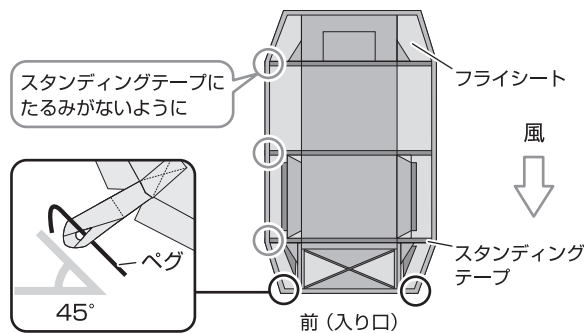
**設営方法** ●設営は2人以上で行ってください。  
●風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 フライシートを広げて、ペグで仮留めする

- スタンディングテープを留める。(3か所)
- ペグは2か所打ち込む。

Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- フライシートはチューブにかからないようにしっかり広げてください。(特に入り口部分)

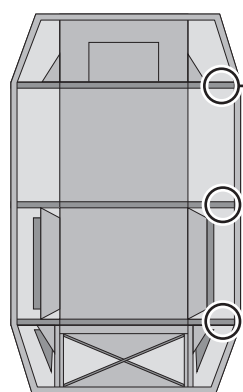


2 エアポンプでチューブに空気を送り込む

前(入り口)から順に空気を入れる。(3か所)

Point

- チューブが折れていると、空気がうまく注入できません。1人が空気を送り込んでいる間、別の1人が内側から屋根を持ち上げてください。



- ①空気穴のふたを外して、中心のつまみが伸びた状態であることを確認する
- ②エアポンプの先端を空気穴に差し込み、右に回して固定する
- ③空気を入れて、ふたを閉める



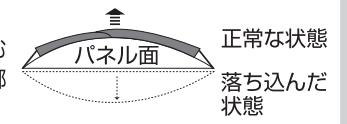
- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故のおそれ)



- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。

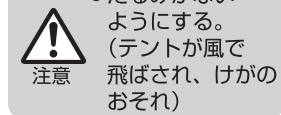
- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

●パネル面について  
強風時や上下に開閉する際、内側に落ち込むことがあります。その場合、フレーム交差部を引っ張り、正常な向きに戻してください。

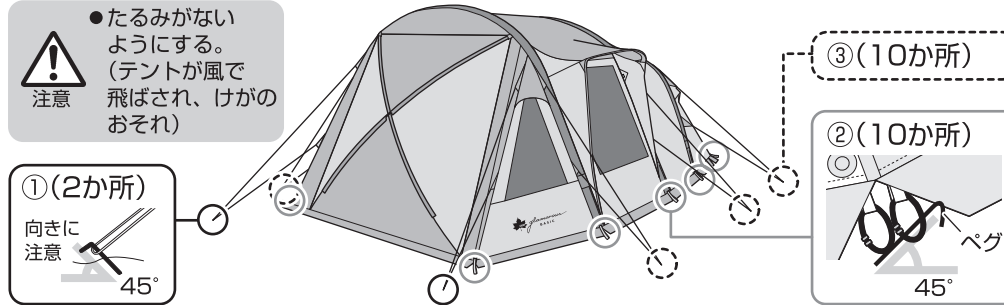


3 フライシートを持ち上げながら、ペグで固定する

- ペグは22か所打ち込む。
- 前(入り口)から順に、たるみがないように固定していく。

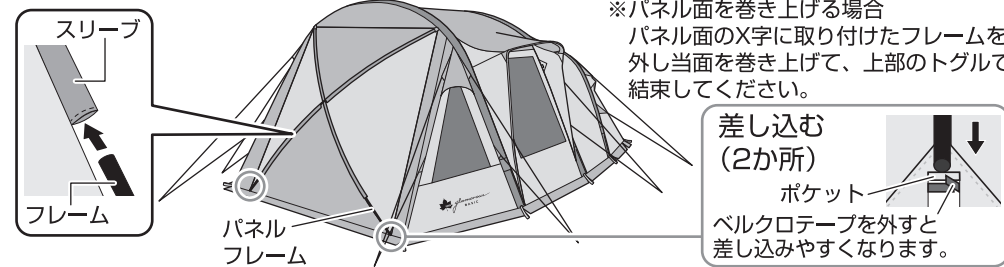


- たるみがないようにする。(テントが風で飛ばされ、けがのおそれ)



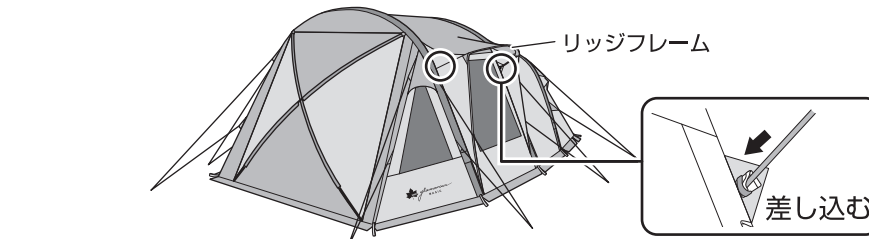
4 パネルフレームをスリーブに通す

- パネルフレームを連結して組み立てる。(2本)
- 前方のパネル面を開け、パネル面を少し持ち上げて行う。
- フレームがスリーブの端まで差し込まれているか確認する。



5 リッジフレームを取り付ける

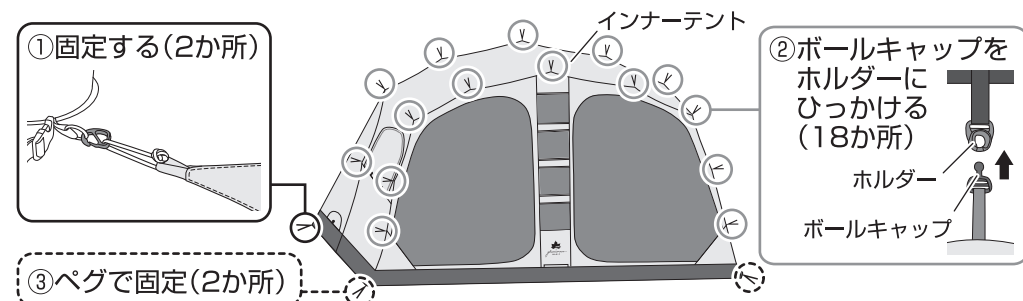
- リッジフレームを連結して組み立てる。(1本)
- フレームをスリーブに押し込み、両端を固定用の穴に差し込む。



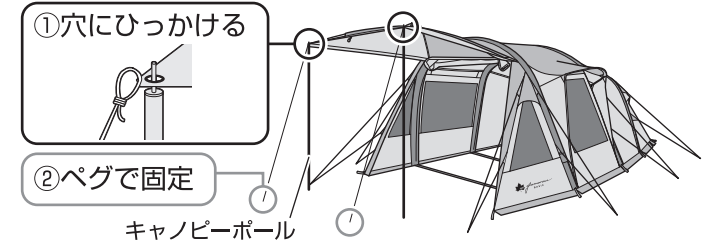
インナーテントを吊り下げる

- 入り口をリビング側に向ける。
- 奥から手前の順で固定する。

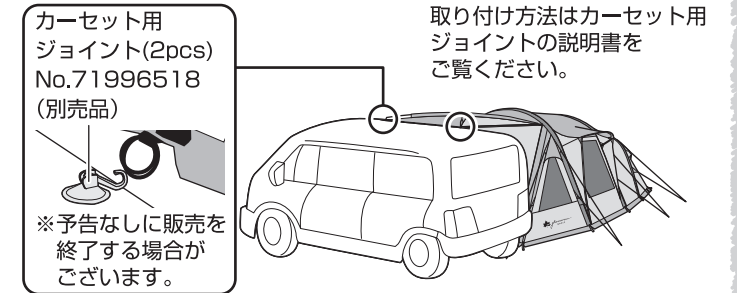
開封時インナーテントは取り付けがありますが、外してスクリーンとしても使用できます。



■ 入り口の固定のしかた  
【キャンピーポールを使用する場合】

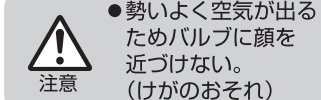


【車と連結する場合】

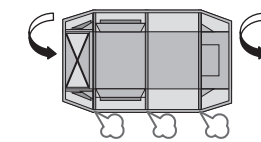


撤収方法

- ① フレームを外す
- ② 空気穴のふたを外して、中心のつまみを押し、へこませる
- ③ ペグを抜く
- ④ シートを巻いてチューブ(3か所)に残った空気を抜く



- 勢いよく空気が出るためバルブに顔を近づけない。(けがのおそれ)



- ⑤ シートを広げて、収納バッグの幅に合わせて折る
- ⑥ 収納バッグをかぶせる
- ⑦ エアポンプからホースを取り外して、収納バッグに入れる

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。